

平成 20 年度 土木学会全国大会

『2008年岩手・宮城内陸地震の 被害及び復旧に関する報告会』



6月14日午前8時43分頃、岩手県内陸南部の深さ8kmを震源とするマグニチュード7.2最大震度6強の地震が発生しましたが、近年我が国で発生した逆断層型の内陸地震としては最大規模のものであります。

又この地震による死者は13名、行方不明者は10名、負傷者は450名に及ぶ大きな災害となりましたが、震源域が多様な火山性堆積物を有する山地であったことから被害の特徴としては建物の倒壊などによる被害が少なく、栗駒山周辺をはじめとした斜面崩壊や土砂災害、河道閉塞が多く発生いたしました。

この地震災害の特徴及び復旧工事と発災時の対応等について報告致します。

司会 中村 晋 (日本大学工学部 教授)

地震動

片岡 俊一 (弘前大学大学院理工学研究科 准教授)

祭時大橋

秋山 充良 (東北大学大学院工学研究科 准教授)

斜面災害・土石流

風間 基樹 (東北大学大学院工学研究科 教授)

ダム・河道閉塞

吉田 望 (東北学院大学工学部 教授)

河道閉塞への応急対策

加藤 信行 (東北地方整備局河川部 河川工事課長)

危機管理対応

松井 幸一 (東北地方整備局企画部 防災課長)

入場無料

日時: 2008年9月11日(木)

13:10~14:40

会場: 仙台国際センター 大ホール

(TEL:265-2450)

問い合わせ: (社)土木学会 東北支部

(TEL:222-8509)

主催: 土木学会 平成20年度全国大会実行委員会

共催: (社)東北建設協会